



# 広報 永平寺 えいへいじ

## 特集号 平成18年度 補正予算成立

### 予算編成にあたって

平成十八年度の当初予算は骨格予算であったため、この六月補正（肉付け）予算是、新永平寺町の方針付けて全町的な視点で均衡あるまちづくりを進めるため、町長の公約（まちづくり方針）を最大限に反映させながら諸施策を着実に実施することを念頭において予算編成を行いました。

国は「緩やかではあるが、回復の兆しがみえてる。」と経済状況を分析していますが、地方においてはこれを実感できる状況にはありません。合併を期に、より広域的、専門的な行政需要がますます増大していくものと考えられ、市町村合併のメリツ

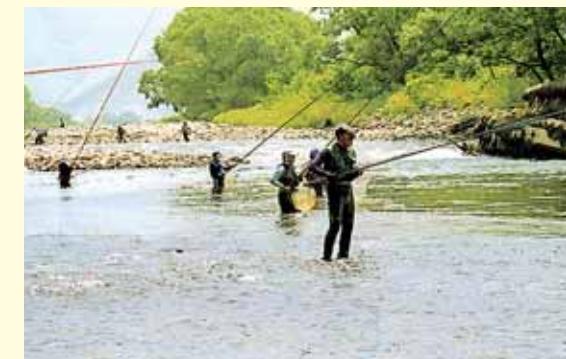
トを最大限に活かすと共に、徹底して行政改革の推進が更に求められます。また、まちづくり方針を着実に進めるためには広く町民からの意見や提言を求め、魅力ある永平寺町の実現に向けて英知を結集し、施策の立案にあたらなければなりません。

行政を取り巻く環境と果たすべき役割責任を自覚し、町民のニーズを的確に把握すると共に問題意識を絶えず持ちながら、最小の経費で最大の効果が上げられるよう創意と工夫をこらす必要があります。

〔6月補正（肉付け）予算編成方針の抜粋〕

平成18年7月1日 発行／永平寺町役場 編集／企画財政課 福井県永平寺町松岡春日1-1-4 TEL 0776(61)1111 FAX 0776(61)2434

### 農林業・商工業・観光の振興



#### 新地産地消、地場産学校給食、食育の推進（ふるさと福井の味探検フェア実施事業） …60万円

小学校において、地場産の食材を使った伝承料理を活用することにより、バランスのとれた食生活を実践し、食育の推進を図ります。また、今年秋の収穫時から永平寺町内で生産されたお米を、町内の全部の小中学校と幼稚園の給食に取り入れることとしています。

#### 農林業基盤の整備…20,768万円

認定農業者や集落営農組織に対する支援事業及

び土地改良等の農業基盤の整備を図り農業の振興を促進しています。

また、林業においても森林組合の振興事業への助成や林道及び治山事業により基盤整備を図っています。

#### 商工業・観光の活性化

#### 新観光ボランティアガイド「語り部」育成事業（地域ブランドより50万円含め） …60万円

町内の豊富な観光資源をよりわかりやすく説明し、旅の楽しさを実感できるよう「語り部」を育成・支援します。

#### 地域ブランド創造活動推進事業 …700万円

#### 永平寺町商工会運営補助増 …104万円

町内中小企業の育成、支援のため商工会と連携を深め、商工業の活性化を図ります。

### 健全な行財政運営

#### 新「集中改革プラン」の策定

事務事業の再編・整理、適正な定員管理、財政計画に基づく経費節減、民間委託・指定管理者制度の活用など、具体的な施策に取り組みます。

#### 新総合振興計画の策定

町の素晴らしい地域資源や観光資源、歴史、伝統、文化並びにこの地域の人々の暖かい人間性など恵まれた環境を取り入れた、町の将来の方向性を定める計画を策定します。

#### 新事務事業評価システムの導入

事務事業を適正に評価・検証することにより、今後の新しい事務事業の必要性や、効果等を見極めるための制度を導入します。

### 管内道路網の整備

#### 新除雪車購入費…1,672万円 町内一円道路新設改良 …5,635万円

#### 継納戸坂線道路改良 …6,901万円

#### 新中部縦貫自動車関連公共工事 …2,366万円

#### 新医科大南通線道路改良 …3,817万円

#### 継106号線道路改良 …1,535万円

国道416号バイパス（機能補償道路）の整備は、最重要課題として取り組み、その他の国道・県道に関しても関係機関に働きかけています。また身近な生活道路の整備についても計画的に進めます。

# 第二回 定例町議会（六月八日～二十一日）

## 町長所信表明

六月八日に開会された第三回永平寺町定例町議会の冒頭に、町政の諸課題および平成十八年度補正予算案等重要施策について、松本町長が次のように所信を述べました。



誕生記念式典で式辞を述べる町長(6月11日)

ないうちを築くため、私は、まず「乳幼児の医療費の無料化」を小学校修学前までに大きく拡大いたしました。現在、医療機関の窓口で自己負担分を支払い、後で償還するというシステムになつておりますが、この自己負担分を支払わなくてもよい完全無料化ができるか検討しております。他市町との連携が必要であり、医師会、健康保険者とも協議を進めながら、実現に向けて努力してまいりたいと考えております。

また「少子化対策」の一環として、三人以上の子供を持つ世帯の経済的負担を軽減するため、第三子以降の妊婦検診費用を無料化すること、三人目の子どもから保育料を三歳まで無料化すること、病気治療中および回復期の子どもの保育料無料化など、今年度から新たに取り組むことといたしました。

また「児童手当」制度の改正により、これまで小学三年生までの支給が小学校修了時まで支給されることとなりました。

「高齢者福祉の充実」につきましては、介護保険や年金などの制度拡充はもちろん、充実した老後の生活を送つていただくため、高齢者の健康づくりに重点を置くこととしたしました。そのた

サービスの向上が大きいに期待されるところであります。永平寺町において四ヶ月が経過いたしましたが、私は、常に市民の視点に立ち、市民の声に耳を傾け、市民が合併してよかつたと実感していただけのようなまちづくりを進めたいと考えております。

去る五月二十三日に、知事と県内八町長により、それぞれが対等な立場で地方分権のあり方や政策推進を検討する「政策懇談会」が設置され、今後の県と町の連携強化を図ることといたしました。そこで私は、観光の振興、地域開発、健康づくりなどについて、県と町が共同で取り組むことや、役割分担ができるかという観点から、効果のある取り組みについて意見を申し

たしました。上に行政の「自立と自己責任」が求められる中、町民一人一人の町政への信頼なくしてはまちづくりの推進は望めません。

町政は町民に支えられて成り立つものであり、町民一人一人の町政への信頼なくしてはまちづくりの推進は望めません。

地方分権の進展に伴い、これまで以上に行政の「自立と自己責任」が求められる中、町民一人一人の町政への信頼なくしてはまちづくりの推進は望めません。

識をいかに町が活用できるかが重要であると考えています。教授、学生との交流を深め、より連携を強化し、町の活性化・福祉・医療・健康づくりなどのまちづくりに積極的な参画を要請してまいりたいと考えております。

# 農林業・商工業 観光の振興

昨年七月に食育基本法が、本年三月には食育推進基本法が施行され、今後五年間の食育運動を進めていくうえで指針として示されました。私は「食育の推進」と「地産地消」を図るため、その一環として、今年秋の収穫時から永平寺町内で生産されたお米を、町内の全部の小中学校と幼稚園の給食に取り入れることといたしました。野菜などの食材についても、生産者や小売り業者の皆さんと協議しながら、地元で生産されたものを積極的に取り入れ、地元の新鮮でおいしい食材を提供することにより、子どもたちのたくましい成長を願うとともに、子どもたちがふる



さとの味にふれ、ふなせとへの愛着の醸成が図られるものと思っております。

また、今年度から新たに四校の小学校において、地域の産物や旬の食材を使った伝承料理などを活用することにより、バランスのとれた食生活を実践し、「子どもと親に食の大切さを学ぶ」「元気いきいき食育推進事業」に取り組むこととしております。

「商工業・観光の振興」も大きな課題であります。国は「緩やかではあるが回復の兆しが見えている」と経済状況を分析していますが、地方においてはこれを実感できる状況にはありません。商工業者の投資意欲や後継者問題、観光客の減少など、解決しなければならない課題は山積しておりますが、一步一步地道な取り組みでこの地域活性化を図る必要があります。みんなで知恵を出し合い、みんなで協力しながら、まちづくりを進めていくことが求められます。私は、全国ブランドとも言える「永平寺」を国内外に発信していくなど、今後商工会、観光業組合の皆様と連携を深め、その活性化に向けて協議を進めたいと考えております。

## 管内道路網の整備

「優良企業の誘致促進」を図るため、「工業振興条例施行規則」の一部を改正し、奨励措置の助成金額を大幅に増額することとしたしました。北陸自動車道と建設が進められている中部縦貫自動車道が交差し、福井市に近いという立地条件を十分アピールし「優良企業の誘致」に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

## 管内道路網の整備

合併後の方向性を示した「新町まちづくり計画」においても、道路の整備は最重要課題として位置づけられており、私も、人口の定住促進や増加につながり、町全体の発展に貢献するものとして、国道四一六号バイパス（機能補償道路）をはじめ、国道三六四号の整備など、道路網の整備に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

「機能補償道路」につきましては、光明寺から浅見までの区間を整備し、国道四一六号の交通混雑を解消するもので、現在、丈量測量、境界立ち会いを行つております。今後、用地買収および



## 地域資源を 活かしたまち

豊かな地域資源を活かしたまち  
清流九頭竜川は古くからこの地域にあります。そのため、住民参加に加え環境の専門家などによる策定委員会を設置し「環境基本計画の策定」と「環境条例」を制定することといたしました。本町の持つ豊かな自然や伝統・文化などまちの魅力や自慢を、町内外の人間に再発見していただくため、「わがまち魅力発見写真コンテスト」を実施するなどに対する想いやイメージを高めてまいります。

また、町の豊富な観光資源をよりわ  
かに取り組んでまいります。  
先日、町内の宝物と言うべき施設、  
産業、ふるさとの味、そして町内の由  
緒ある寺などを気軽に知つていただく  
ため「新永平寺町再発見の旅」と「古  
刹巡りの旅」を実施いたしましたが、  
大変好評を得ており、今後も新たな企  
画を行いつゝ、全国レベルで情報発信し  
ていく活動として「地域ブランド創造  
活動推進事業」に取り組んでいますが、  
新しい観光ルートの開発、永平寺口駅  
周辺整備、永平寺線跡地の利活用など、  
今後の町の新しい観光振興に結びつく  
事業の具体化に向けて検討してまいり  
ます。

良好な景観を保全、創出するための方針を取りまとめ、この方針に基づき事業の着手に向けて取り組んでまいりました」と述べた。また、「永平寺景観協議会」を設置することとしており、松岡古墳群が国史跡の指定を受け、歴史的遺産としての保存と活用について、適正な保存管理の方針を定める必要があるため、「松岡古墳群保存計画」を策定することとした。

二つの大学との連携強化につきましては、福井大学医学部の持つ医療、福祉の分野および福井県立大学の持つ経済、看護福祉などの分野から、専門知

平寺町に住みたい」そして「永平寺町で子どもを育てたい」と言つていただきけるように、そのため、快適で「魅力ある良質な宅地」を提供することが必要であります。現在、西野中、栗住波において宅地造成に取り組んでいます  
が、効率的な造成工事によりコストを抑え、売却に当たっては民間企業のノウハウを活かしながら、若い世代が購入しやすく洗練された住環境にしたい

## 自然環境と 共生でやるまわ

月十七日の解禁日を皮切りに多くの太公望が訪れる鮎釣りのメッカとして、また、中流域に位置し、川の流れや自然の景観が美しい地域であり、この素晴らしい財産とも言える九頭竜川を、まちづくりに活かし、川に沿った「遊歩道の整備」など町民の憩いの場として新たな整備を図つてまいります。

大本山永平寺、吉峰寺、古墳群などこの地域には観光資源が豊富であります。

かりやすく観光客に説明し、訪れた観光客がさらに旅の楽しさを実感できるよう「語り部」を育成・支援することとしております。

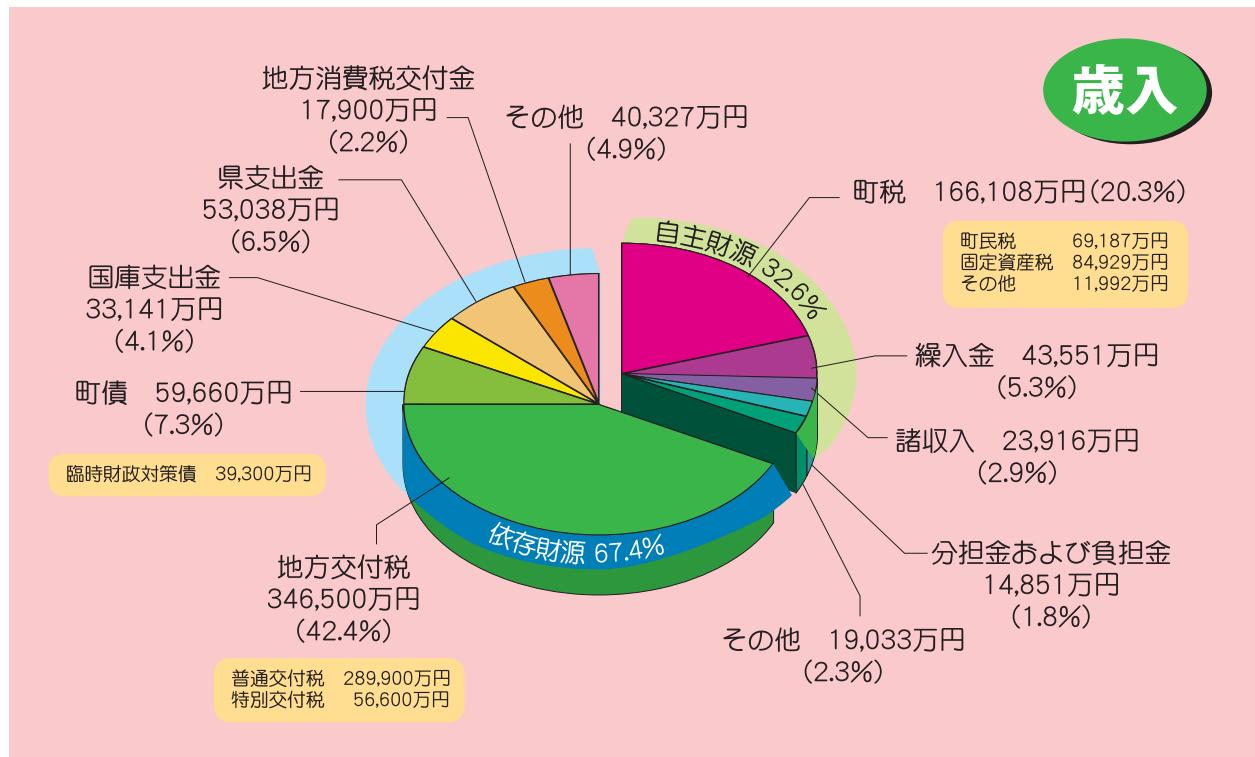
また、永平寺、九頭竜川、大学周辺は重要な歴史、自然、文化の資源であるとともに、良好な景観を創りだしております。私は、このような素晴らしい景観をさらに上質なものとし、将来に引き継いでいくため保全しなければ

# 一般会計 81億8,025万円

## —平成18年度当初予算と6月補正予算—

で、前年度と比べ1・9%の増となりました。土地開発事業では栗住波、松岡西野中宅地造成事業に伴い、前年度より115%の大幅増となり、国民健康保険および老人保健特別会計においても給付額等の増により、全体的に増加しました。

特別会計(対前年度伸び率 %)	
◆ 国民健康保険事業	14億7,570万円 6.8
◆ 老人保健事業	24億2,236万円 3.0
◆ 介護保険事業	13億 375万円 △4.7
◆ 農業集落排水事業	2億1,178万円 0.9
◆ 公共下水道事業	7億4,288万円 △6.1
◆ 簡易水道事業	1億9,772万円 △1.6
◆ 土地開発事業	1億1,935万円 115.4
合 计	64億7,354万円 1.9



**歳出** 民生費がトップで、これは児童手当の支給拡大や、乳児医療費等助成事業の拡充等、福祉の充実に重点を置いたためです。また、農林水産業費や土木費において、町内の道路整備等にも十分予算を付けており、合併後的新町のまちづくりを強力に推進してまいります。教育費においても、町内・小・中学校の校舎等改修工事や、耐震関係についても工事を行い、子どもたちの教育環境の整備を推進します。

「新」永平寺町誕生後、初めての本格的な予算編成であります。が、国の三位一体の改革や、厳しい経済情勢の中で、合併後のまちづくりの推進や町民へのサービスの向上を図るべく、幅広い分野に配慮した予算となつております。今後も厳しい財政運営が予想されます。が、徹底した行財政改革を行い、効率的、効果的な行政運営に努め参りますので、今後ともご理解、ご協力を願いします。

**歳入** 主要な財源である町税は前年度と比べて0・1%減で、予算全体の20・3%を占め、地方交付税は2・6%減で、予算全体の42・4%を占めています。なお国の三位一体改革に伴う税源移譲分として所得譲与税1億6,400

**上水道企業会計** 3億9,199万円  
で前年度より42・2%の増となりました。これは、昭和51年に導入した中央監視制御装置の入れ替えを行うもので、将来的に安定した飲料水の供給を行うための事業の増によるものです。



物件移転補償契約の交渉も進められており、一部の区域を除きこととなつております。順調に進捗しております。

国道三六四号につきましては、「国道三六四号改修期成同盟会」を再結成し、私も、先頭に立つて早期の実現に努力したいと考えております。今後も関係市町とともに、国、県、関係機関に対して働きかけてまいりたいと考えております。

## 異文化回遊 社会の実現

私は、女性の元気が社会の元気につながるものと考えております。少子高齢化の進展、経済活動の成熟化、社会情勢の急速な変化に対応していく上で、男女が互いにその人権を尊重し責任も分かち合い、その個性と能力を十分に發揮することができる男女共同参画社会の実現は、緊急の課題となつております。家庭や職場、地域など社会のあらゆる分野でこの参画社会の実現のため、積極的な啓発運動の展開が必要であります。これまで、三町村はそれぞれ男女共同参画社会の実現のために、具体的な施策・体制づくりなどを定めた計画書を策定しておりますが、本年度は、新永平寺町にふさわしい新たな計画書を策定することとしております。策定に当たっては、男女共同参画推進委員会を設置し、様々な意見、

合併後、人口二万七百人、面積九十四三四平方キロメートルという町になりましたが、強大な自治体として生まれ変わったのではありません。三位一体の改革が本格的に進められる中で、「自主・自立」「選択と集中」が求められており、これまで以上に地方の財政は厳しい試練に直面しております。このような状況の中で、地方公共団体においては新しい視点に立つて行政改革に取り組み、その体制を刷新していく必要があります。健全な行政財政の運営はこれからの中ちづくりに不可欠であり、行政の責務であります。そのため、「集中改革プラン」を策定し、事務事業の再編・整理、適正な定員管理、財政計画に基づく経費節減、民間理、財政計画に基づく経費節減、民間

価対象として制度を確立してまいりましたと  
いと考えております。

これまで申し上げてまいりましたと  
おり、これから永平寺町の未来には、  
素晴らしい地域資源や観光資源、歴史、  
伝統、文化、さらにはこの地域の人々  
のあたたかい人間性など恵まれた環境  
にありますが、産業の停滞、人口の減少、  
財源の確保など、様々な課題が山  
積しております。このため、私たちの  
ふるさと、永平寺町のまちづくりを進  
める基本的な指針として、「総合振興  
計画」を策定いたします。この計画は、  
町の将来の方向性を定めるものであ  
り、幅広い議論を進めながら策定する  
こととしております。

以上、私の町政に対する所信とい  
します。

物件移転補償契約の交渉も進められる  
こととなっており、一部の区域を除き  
順調に進捗しております。  
国道三六四号につきましては、「国  
道三六四号改修期成同盟会」を再結成  
し、私も、先頭に立つて早期の実現に  
努力したいと考えております。今後も関係  
団体の協力のもと、改修工事の実現に努め  
ます。

健全な行政財政運営

ご提案をいただきながら進めていき  
いと考えております。また、新たに  
取り組みとして、町内在住の女性の  
たから男女共同参画社会の促進、子  
て、教育環境の整備などに対する、  
性の発想や考え方をいただくため「  
く女性永平寺会議」を設立いたします

委託・指定管理者制度の活用など具体的な施策や取り組み、数値目標をとりまとめ、公表することとしておりま  
す。

また、これまで取り組んできました事務事業を適正に評価・検証することにより、今後の新しい事務事業の必要

# 6月補正予算に反映した 主な取り組み



## 健康で笑顔に満ちた 住みよいまち



被用者児童手当の制度改正で小学校修了まで支給・・3,479万円

被用者児童手当が小学校3年生まででしたが、今回の改正により小学校修了まで支給されます。

**新**元気な3人子出産応援事業 .....160万円

**新**すぐすぐ保育支援事業 .....保育料の軽減113万円

3人以上の子どもを持つ世帯の経済的負担を軽減するため、第3子以降の妊婦健診費用の無料化および3人目の子どもから3歳までの保育料を無料にします。

**拡**乳幼児医療費無料化事業 .....当初予算で4,500万円

3歳児までの乳幼児医療無料化を小学校就学前まで拡大し、全町で適用することとしました。

### 高齢者福祉の充実

高齢者の健康づくりのため地域ふれあいサロン事業や筋力トレーニング事業の充実および在宅介護の支援事業として地域包括支援センターや在宅介護支援センターの設置拡大を図ります。

## 住民参画システム の確立

### 新まちづくり委員会の設立に向けて準備

新町の豊かな地域資源と地理的条件を活かしたまちづくりや、さまざまな課題について、必要な提言・助言を行う委員会を設置して町民との協働を図ります。

### 新わがまち夢プラン育成・支援事業 ...200万円

環境、教育、福祉、地域活性化、観光など様々な分野から、各地区や地域振興会などが知恵を絞った独自のまちづくり策に助成します。

### 炉ばたトーク

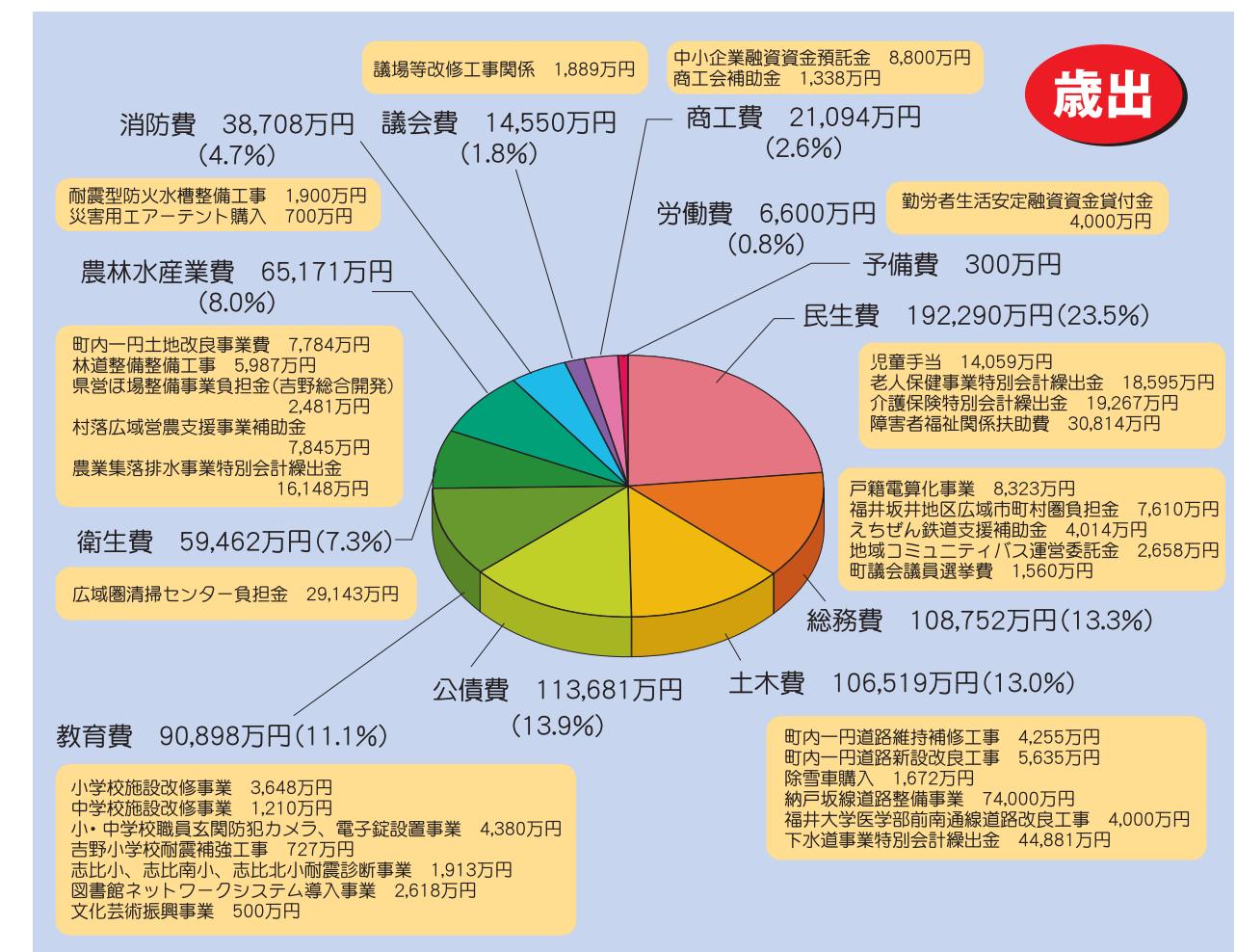
“歩く・聞く・活かす”をモットーに、町民の皆さんと一緒に話し合える場として炉ばたトークを実施します。

### 新パブリックコメント制度の導入

住民の町政への参画機会を拡大するとともに、行政の説明責任を果たすための制度導入を図ります。



(新)は新規事業



## 町民1人当たりの予算額

**395,544円**

平成18年6月1日現在の  
人口(20,681人(推計))をもとに換算



## 地域資源を活かしたまち

### 新文化芸術振興事業……500万円

永平寺町内の文化施設を利用して、町民の皆様に文化芸術に親しんでいただく振興事業を計画しています。

### 新永平寺町景観計画及び協議会の設立 ……30万円

本町には、永平寺門前地区、九頭竜川流域、山々の古墳群及び大学周辺区域など良好な景観が数多くあります。これらの景観保存・形成に取り組むため「永平寺町景観協議会」を設置します。

### 新歴史・文化資源の保護事業等 古墳群整備事業、保存管理計画策定事業 ……320万円

「松岡古墳群保存計画」を策定し、国史跡の指定を受けた歴史的遺産の適正な保存管理方針を定めます。

### 二つの大学との連携強化

大学が持つ専門知識をいかに町が活用できるかが重要であることから、教授、学生との交流を深め、より連携を強化します。



## 自然環境と共生できるまち

### 新環境基本計画の策定 ……385万円

地球温暖化防止対策やゴミ環境問題などの課題に取り組むため、環境基本計画を策定します。

### 新わがまち「魅力」発見写真コンクール ……23万円

本町の持つ豊かな自然や伝統・文化など、まちの魅力や自慢を町内外の人に再発見していただくための写真コンクールの実施をします。

### 新環境エネルギー教育支援事業 ……77万円

地球にやさしいクリーンなエネルギーについて、子供たちの学習の中に取り入れ、環境問題について関心を高めます。



## 若い世代が住みたくなるまち

### 新永平寺児童館の設立 (児童館厚生員補助員の増) ……133万円

### 志比児童クラブの設立 (志比児童クラブ指導員の増) ……101万円

子育て支援の充実を図るため、永平寺地区に児童館、志比小学校区域内に放課後児童クラブを設置します。

### 新快適で魅力ある良質な宅地の提供 (松岡西野中、栗住波) ……11,935万円

西野中及び栗住波の宅地造成については、若い世代が購入しやすく洗練された住環境として整備します。

### 若者出会い系交流応援事業 ……62万円

自然な形で男女の出会い系・交流できる場を提供し、結婚を希望する若者を応援します。

## 安全で安心して暮らせるまち

### 新福井の伝統的民家普及促進事業 ……300万円

地域固有の資源である伝統的民家を継承していくため、伝統的民家の新築・改修に対し補助を行います。



### 子供を危険から守るために防犯体制の整備

### 新緊急連絡用携帯メール配信システム (小・中学校)……23万円

### 新防犯カメラと電子施錠の設置 (小・中学校)……438万円

### 新防犯カメラとインターホンの設置 (町内全ての幼稚園と2ヶ所の放課後児童クラブ) ……600万円

### 防犯グッズの整備(小・中学校、幼稚園) ……43万円

子供を危険から守るために、町内全ての小中学校及び幼稚園に防犯カメラを設置します。また、緊急連絡用携帯メールの配信システムを利用して不審者情報や事件発生など必要な情報を小学生の父兄に発信します。

### 小・中学校及び幼稚園の耐震強化事業 新吉野小学校耐震補強工事 ……727万円

### 新耐震診断調査業務委託料 (志比小学校、志比南小学校、志比北小学校) ……1,913万円

子供たちが安心して学校生活を送れるよう、計画的に施設の耐震化を図ります。

### 小・中学校及び幼稚園の環境整備事業 小・中学校10校の工事費及び備品係 ……5,627万円

### 管内の幼稚園10ヶ所の工事費、 修繕費、備品等……1,678万円

教育施設や体育施設の改修や修繕などの環境整備事業を行います。

### 防災体制の整備 新地域防災計画書の策定業務 ……299万円

### 防災無線再設置工事 ……245万円

### 新防災用備蓄倉庫の設置 ……156万円

### 新災害救助用エアーテント購入 ……700万円

### 集落消防設備整備補助金 ……57万円

災害に強い町をつくるために、新町での地域防災計画書を策定し、防災倉庫や災害救助用エアーテントを整備します。

## 男女共同参画社会の実現

### 男女共同参画関連経費 ……120万円

### 新男女共同参画推進委員の設立

男女が互いにその人権を尊重し、責任も分かれ合い、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に努めるため、男女共同参画推進委員会を設けます。

### 新「輝く女性永平寺会議」の設立

女性の元気が社会の元気につながるまちづくりのため「輝く女性永平寺会議」を設立して男女共同

参画推進に取り組みます。

### 新男女共同参画推進講演会の開催

男女共同参画の意識普及拡大を図るために、町民を対象にした講演会を開催します。

### 女性ネットワーク助成金 ……23万円

各婦人団体・グループの連絡及び、交流活動の協調に取り組み、地域社会及び町行政により積極的に参加していただくよう応援します。